

地域の笑顔で日本を元気にする

MORIKADO JC



本気メディア株式会社
号外NET 守口市・門真市
企画編集部

宮西 陽子氏

過去には何があった？！

平等に与えられた時間を活用する

例会・事業報告・案内



Junior Chamber International Japan
MORIGUCHI KADOMA

Vol.11





理事長コラム

一般社団法人 守口門真青年会議所 2022年度
第18代理事長 竹内 太司朗

平等に与えられた時間を活用する

向寒の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は一般社団法人 守口門真青年会議所に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2022年度も残すところ2ヶ月となりました。1年というものはあっという間で、つい先日まで暑い日が続くと思ったら、今は少し寒いと感じる日が続いております。この広報誌、もあと1回で終了となり、つまりは、私のコラムもあと一回記せば、終了となります。毎回、内容を考える時間は私にとって、とても学びとなる貴重な経験となりました。

年齢を積み重ねる毎に1年が過ぎ去るのが早いという会話を仲間とするようになりました。年長者は記憶される年月の長さが年少者よりも短く感じる事が理由で、年を重ねるにつれて1年が心理的に早く感じるという「ジャンネーの法則」というものがあるそうです。この法則の通りに考えると、また来年は今よりももっと早く1年が過ぎることになってしまい、それこそ人生を後悔してはいけなさと焦りを感じてしまいます。

人によっては、毎日が多忙で1年が早く過ぎてしまうと感じる方もいるようです。また、あまりにもマンネリ化していても同じ現象が起きる説もあるようです。私はどれが正解かはわかりませんが、どのような説や研究があったとしても、私達に与えられている1年の365日、1日の24時間、1時間の60分は、誰もが平等であり間違いのないことです。

この平等に与えられた時間を無駄にすることなく使いこなせるかが、大事になってくると思います。もちろん、何もしない時間も必要ですが、何かチャレンジできる時間があるなら、大いに時間を活用すべきだと思っています。

冒頭に述べましたが、今年度残り2ヶ月です。もう何もやることがないから終わろうと感じる時間はもったいないと思います。来年度、さらにパワーアップするためにも今でも挑戦できることはたくさんあります。今後とも、時間を無駄にせず、日々成長できるよう、引き続き邁進してまいりますので、変わらぬご支援、ご指導の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

過去には何があった？！

見慣れた風景の過去

郷土史創造委員会では、国際人として生まれ育った国の文化や歴史について深く知り、周りに発信できることを大切に考え、活動を行っております。

今回は守口市・門真市で大きく街が変わった箇所を4箇所ピックアップし、ご紹介させていただきます。今では見慣れた風景になってしまいましたが、過去には何があったのか、再発見や新たな気づきにつながればと思っております。

※情報は2022年10月現在、公表されている情報をもとに掲載させて頂いております。

守口市

守口市役所

2016年に守口市役所の庁舎が移転しました。

新庁舎は新しく建て替えるのではなく、1999年建設の旧三洋電機の本社ビルを改修して再利用するかたちで進められました。旧三洋電機の本社ビルの前は…古い三洋電機の社屋があったそうで、そこを解体してビルに建て替えました。地下に食堂があったそうです。



守口警察署

2021年7月、守口警察署が京阪本通2丁目に新築移転しました。この移転は旧庁舎の老朽化によるもので、それまで約50年にわたり市民の安全を見守ってきました。約400m西側に移転した新庁舎は地上5階建てと装いを新たに開署。これからも安心・安全な街づくりの促進に向けて期待が寄せられています。

この場所には以前は守口市立土居小学校があり、2006年3月をもって閉校となりました。



門真市

三井ショッピングパークららぽーと門真・三井アウトレットパーク大阪門真・コストコ門真倉庫店 ※建設中

門真市松生町には2023年春に大型商業施設のららぽーととアウトレットパークが、同年夏頃には大阪で2店舗目となるコストコ、分譲マンションがオープン予定です。以前はパナソニック株式会社のデジタルAV(音響・映像)機器研究開発の営業拠点でした。ららぽーとには黒門市場が入ることが発表されるなど、地域の活性化が期待されています。



門真市立総合体育館

2010年3月末に閉店した大型商業施設のトポス古川橋店の跡地を市が購入し、2017年にオープンした門真市立総合体育館は、メイン・サブアリーナのほか、多目的スタジオや幼児体育室、剣道場、柔道場などを備え、様々な屋内スポーツを実施することができます。

他にもこの場所は門真市の新たな防災拠点となるエリアで、周辺の防災機能を有する施設と連携・補完を図り、エリア全体の防災機能を一層高めるための防災機能を充実させています。有事の際には広域避難の受け入れ場所として機能する施設となっています。





地域の笑顔で日本を元気にする 理事長・委員会対談

竹内 太司朗



号外NET



郷土史創造委員会



号外NETについて

秋本..はじめに、本気メディア株式会社（マジメディア）様が運営されている号外NETについて、教えてください。

宮西..まず号外NET自体が、9年前の2014年から始まりました。最初は本社のある東淀川区、そして守口市、東大阪市、大東市の4つのエリアからスタートをしました。それから現在では全国230エリアまで拡大しております。各エリアのライターは主婦の方が多く、主婦目線でここにこんなお店ができました、幼い頃から通っていたあのお店が閉店しましたなど、いろいろな思いを主婦目線で書いてもらうことで、読者さんにも親しみをもっていただいております。

近藤..号外NETのライターはどのような方が担当されているのですか。

宮西..各エリアのライターは主婦の方が多く、「ここにこんなお店ができました」や「幼い頃から通っていたあのお店が閉店

しました」など、いろいろな思いを主婦目線で書いてもらっています。その効果もあって、読者さんにも親しみをもっていただいております。また、号外NETをご覧いただく方も増えていくなかで、市民の方から情報提供を常にいただき、「あのお店を調べてほしい」というように、探偵ナイトスクープみたいないな感じでたくさんのご依頼などもございます。市役所さんからも報道関係という位置づけにいただき、門真市役所さん、守口市役所さんからも情報提供をいただけるようになり、行政とも連携しておりますので、様々な情報が集まってきます。

秋本..ライターさんはボランティアの方ですか。

宮西..いえ、お仕事です。やっぱり自分の書いたものが収入につながるのでライター志望の方も、多く居られます。

号外NETができた歴史と先見の明

竹内..号外NETはどのような想いがあった、どのような理由で始められたのですか。

宮西..遡れば1997年に弊社の社長が新聞折り込みチラシの中に、ゴーガイチケットというクーポンを入れる事業から始まりました。お店の割引クーポンを掲載し多くの読者さんに利用していただきました。その後、時代の変化とともに紙媒体



が難しくなり、ガラケーが登場して、インターネットが普及し、全部このケータイの中で仕事できるようになると会社は予想していました。常に5年先・10年先・20年先を見越してアイデア

を事業化していき、号外NETも生まれました。さらには、このネットの時代が訪れ、ネット上に広告を出せるようになりました。

近藤…先見の明をおもちだったのでですね。私達も今年度は先を見ながら、自分たちに今できることは何かを考えて活動しています。

坂元…当時はここまで当たり前前にインターネットが普及する時代になり、アプリケーションも多様化している時代になると思っていて人は少なかったと思います。

竹内…今私達は、近い将来、メタバースが当たり前になる世の中をイメージし、事務処理に関しても、AIがさらに活用されるだろうと考えて、例会や事業に取り組んでいます。今後、もしかすると、キッチンカーのようなショッピングカーが全国を駆け巡

り、家を出なくても買い物ができたり、メタバースの中で買い物ができたり、外出をする必要もなく、移動が少なくなる時代がくるかもしれない。号外NETは現在どのような未来を想像していますか。

宮西…そのような時代が来ることも考えたりはします。外出をしない時代で考えると、商店街にあるお店もお客様を待っているというより、デリバリーをすることも一つの考えだと思えます。

商店街にある空き店舗の活用

坂元…昔から、シャッター商店街という言葉もあります。現在も閉店をしてしまうお店は増えているのでしょうか。

宮西…場所によって異なります。もちろん空き店舗が増えているところもあります。ただ、お店が閉店し空き店舗が一時増えなくても、その空き店舗を活用し活性化につながっているところもあります。

近藤…私達が対談しているこの号外NETの事務所もそうなのではないか。

宮西…はい。そうです。こちらの場所も、当時の空き店舗を活用しております。土居の商店街の空き店舗もありますし、コミュニティスペースを

日単位で活用できるところなどたくさんありますので、是非活用していただきたいです。

号外NETの目標

竹内…先程、未来の話や現時点の課題解決についてお話をうかがいましたが、私達は未来に向けた挑戦を大事にしている一方で、原点を考える目標も掲げて行動しています。原点が崩れると、私達が所属している団体は守口門真青年会議所ではないくなり、ただのボランティア団体になってしまいます。号外NETの目標は何でしょうか。

宮西…号外NETのミッションは地域の自慢を掘り出し、地元小さな店舗や昭和・平成と未永くがんばっておられるお店を全国に発信することです。地域の笑顔で日本を元気にしようが号外NETのミッションとなっています。創業当時の

目標はお店がクーポンを付けることにより、多くの地元のお客様に認知していただき、地域で買い物や飲食をして、地域を活性化させることです。

新たな取り組み



竹内…次の時代はどのようにお考えになられていますか。

宮西…今後の構想としては、10月より「まちなか給食」というプロジェクトを弊社がサポート体制を組みながら、京阪東通商店街主催で始めることになりました。地域の大人や企業から1口600円ほどの寄附を募り、子どもたちが地域の飲食店で食事できるようにする企画です。守口市の小中学生・未就学児・ひとり親家庭の子どもたちに給食というかたちで、地域で使える食事券を全員にプレゼントします。経済的に大変な家庭や孤食の問題を解決へ導くと共に、いつも頑張っておられる保護者の方を応援するプロジェクトです。自分たちがお腹を空かせていた時のことやひとりで子供を育てていた時のことを思い返し、ひとり親世帯の方や頑張っている親御さんたちを応援したい、と思っています。多くの個人や企業からクラウドファンディングは順調に集まっています。食事券は地域のお店さんで食べてもらう仕組みで、地域のお店の活性化にもつながるようしていきたいです。今回を全国初にして、守口市から全国へ広めたいという構想があります。

号外NETが観る守口市の変化

秋本…宮西さんはずっと守口にお住まいですか。

宮西…私は高校生から守口に住みました。今は鶴見に住んでいます。実家は守口です。

秋本…守口の移り変わりはどのように感じますか。

宮西…私がいた頃は、ちょうど守口市駅ができたぐらいだったと思います。あの時は凄くきれいに駅前が開発されびっくりしましたね、それから少しずつ人が離れ、以前のにぎわいがなくなったような気がします。しかし、守口市駅周辺も商店街も魅力ある店は多くあります。号外NETで知っていたたくさんのお店がなくなっています。商店街としても「まちなか給食」で、お店や住んでいる方、子どもたち、働いている方々が助けたり、助けられたりする想いのこもった繋がりを築いていき、少しでもみなさんが元気になっていただければと思います。

守口門真青年会議所との連携



宮西…守口門真青年会議所さんの活動としては、何か定期的に事業などをされているのですか。

竹内…基本は月一回、例会や事

業を行っており、まも今年度はJCカップという、少年サッカー大会を開催しました。献血推進活動を行うなど様々な活動を行っています。

宮西…来年わんぱく相撲を開催される際は、号外NETに掲載させていただきます。

竹内…ありがとうございます。是非、号外NETと連携できればと思います。私達青年会議所やその他の団体も含め、号外NETと協力できれば、相乗効果も得られると思います。号外NETはどちらかというところ、飲食店の紹介が多くされているようですが、異なる業種の紹介なども可能なのでしょうか。

宮西…はい。飲食店以外でも話題になることや多くの市民の皆様にお伝えすることがございましたら紹介することも可能です。それが地域の活性化につながればと思います。今後とも是非、宜しく願っています。

秋本…本日は貴重なお時間を頂きました。お話しにもありましたが、お互いに連携できることがあればやっていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしく願っています。本日はありがとうございました。

宮西…ありがとうございます。

例会・事業報告

10月6日～9日 全国大会 大分大会

公益社団法人日本青年会議所 第71回全国大会 おおいた大会が開催されました。この全国大会は日本全国のJCメンバーが集まり、今年度は大分の地で開催されました。大会では総会や各種フォーラム、式典等が開催されます。全国の卒業生を対象とした卒業式も開催され、今年度の守口門真青年会議所からは3名が卒業となります。



10月11日 FM Hanako 子育てについて 担当：ミラクルな友情育成会議

今回はミラクルな友情育成会議が担当しました。新入会員に出演してもらい、子育てについてお話しさせていただきました。守口門真青年会議所は今年度、子育て世代であるJCメンバーが家庭や仕事、JC活動を平行しながらも活躍できるよう、子育て支援等を積極的に行なう「育LOM※」として認定されました。



※LOMとは「Local Organization Member」の頭文字をとったもので、国家青年会議所の中に属する各地青年会議所の意味です。

10月18日 10月度例会【まちの未来をともに描こう】

守口市・門真市の各種団体に集ってもらい、守口市・門真市の抱える問題点やまちの在り方を話し合い、より良い未来をつくるためのディスカッションと意見交換を行いました。青年会議所は、子供達対象の事業やメンバー内の研修を行ったりするだけでなく、明るい豊かなまちの創造のため、まちの在り方も真剣に考える団体です。



今回行われたディスカッションの内容を精査し、後日、両市に提言書を提出します。

10月22日 献血推進活動（秋）

京阪電鉄古川橋駅前ロータリーで献血推進活動を行いました。今回は骨髄バンクのドナー登録も併せて行いましたが、たくさんの市民の皆様にご協力いただくことができました。誠にありがとうございました。



例会・事業予定

11月6日 守口市民まつり ブース出店

11月5日・6日、第36回守口市民まつりが開催され、守口門真青年会議所は6日にブース出店します。近年、異常気象による災害等が多くなっており、実際に災害が起きた時にできるだけ被害を少なくするには、自助共助が大切です。まずは、自身の身体の健康について考えていただきたく、筋トレ以外にもダイエットや生活習慣病の予防、災害時の栄養補給にも使えるおいしいプロテインドリンクを販売します。

11月18日 11月度例会【問われる真価！もりかどJC 3.0】

毎年、11月度例会は新入会員が担当しており、今年度は会員拡大の必要性について学びを深め、次年度以降の守口門真青年会議所につなげる例会を実施します。

FM MORIGUCHI 82.4

FM
HANAKO



FM HANAKO 「守口門真 JC のモカチャンネル」

毎月第2火曜日 18:00 ~ 18:30 放送中!!

新入会員募集中!

青年会議所とは

各地の青年会議所の事を「LOM(ロム)」と呼び、年齢は20歳~40歳までとする会員制の団体です。世界では、128の国と地域に活動拠点がおかれ、Junior Chamber International(JCI.国際青年会議所)として、次世代を担う経済人、社会活動家を育成する機関となっています。

日本JCの理念は、1950年に採択された「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、

- ・個人の修練(トレーニング)
- ・社会への奉仕(サービス)
- ・世界との友情(フレンドシップ)

の「三信条」を日々の運動と活動を行うなかで、磨いていきます。

こんな方々も会員でした

世界編

ジョン・F・ケネディ 元アメリカ大統領
ビル・クリントン 元アメリカ大統領
ジャック・シラク 元フランス大統領
ビル・ゲイツ マイクロソフト創設者

日本編

小泉 純一郎 元内閣総理大臣
麻生 太郎 元内閣総理大臣
森 喜朗 元内閣総理大臣
石原 慎太郎 元東京都知事
小泉 進次郎 衆議院議員
高須 克弥 高須クリニック院長
鳥井 信一郎 元サントリー会長

その他多くの著名人が会員でした。



一般社団法人 守口門真青年会議所

〒570-0038 大阪府守口市河原町 10-15 テルプラザ 2 階 217

TEL : 06-6998-0781

FAX : 06-6998-0782

E-mail : office@morikado-jc.com

HP : http://www.morikado-jc.com



Official Site

